

## 第1節 社会教育

### 【青少年教育】

#### ■現状と課題

近年の少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化など子どもを取り巻く環境の変化や家庭・地域の子育て機能・教育力の低下が指摘されるなか、子どもが健やかに育ちづらい家庭や地域社会になっています。

このような現状を踏まえ、放課後などに子どもが安心して活動できる場の確保を図ることが必要です。

また、少子高齢化による人口構造の急激な変化の下、情報化、国際化、消費社会化が進行し、家庭、学校、職場、地域など青少年を取り巻く環境にも大きな影響が及んでいます。

このような社会の変化のなかで、青少年の非行、いじめ、不登校、ひきこもり、児童虐待などのほか、携帯電話やIT機器を使った様々な問題が深刻化しており、これらに早急に対応する対策が求められる状況にあります。

青少年の健全育成においては、家庭や学校・地域が果たす役割は大きく、国が進める「学校支援地域本部事業」における地域全体でのボランティア協力のほか、子ども会やスポーツ少年団、関係団体の協力を得ながら体験活動や交流の場を確保するなど、感性豊かで健やかな育成が必要であります。

これらに対応するために、現在、町においては子どもたちの奉仕活動や地元での体験活動を通じた健全育成を目指す「サロベツ体験隊事業」などを実施しています。

今後は、青少年の社会参加につながる活動の場や学習機会を提供し、青少年の持つ活力を地域活動やまちづくりにつなげていくことが望まれます。

国際交流については、国際化社会を担う人材育成のために「語学指導などを行う外国青年招致事業」（JETプログラム）を活用して外国語指導助手（ALT）を招へいし、小中学生及び高校生の語学指導や国際理解の推進を図っています。また、町民を対象にした英会話教室の開設による異文化交流事業も実施されています。

今後もこれらの事業を通して国際化社会を担う人材育成を進める必要があります。

#### ■ 施策の方向・主要な事業

##### 1 放課後児童対策の充実

###### （1）放課後児童対策の充実

- ①保護者が就業などで昼間家庭にいない児童に、授業の終了後における適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全育成を図る「放課後児童クラブ（学童保育）」の充実を図ります。
- ②放課後に安全・安心な子どもたちの居場所を確保し、子どもたちを見守る教育活動推進員などを配置するとともに、地域の様々な方々の協力を得ながら、文化・

スポーツ・学習など多様な活動機会を提供する「放課後子ども教室チャレンジくらぶ」の充実を図ります。

- ③「放課後子どもプラン運営委員会」を設置し、総合的な放課後対策を検討する場の確立を図ります。
- ④「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の連携、一体化を検討します。
- ⑤子ども達が集える施設の利用検討を図ります。

●主要な事業

- ・放課後児童クラブ（学童保育）の実施
- ・放課後子ども教室チャレンジくらぶの実施
- ・放課後子どもプラン運営委員会の開催

## 2 青少年の健全育成と社会参加の推進

### （1）指導者・リーダー養成事業の推進

- ①指導者リストの整備と有効活用を図ります。
- ②「学校支援地域ボランティア支援事業」の人材発掘を図ります。
- ③指導者、ボランティア養成事業の開催を推進します。

### （2）青少年育成団体等への支援

- ①地域子ども会、子供育成連絡協議会の自主的運営の支援を図ります。
- ②子育て推進協議会への支援を図ります。

### （3）青少年育成体制の推進

- ①青少年団体及びその指導者やリーダーを育成するため、広域的な研修や相談体制の整備を推進します。

### （4）青少年育成、社会参加の推進

- ①子どもの社会参加を重視した継続的な活動の推進を図ります。
- ②家庭、学校、地域の教育力を連携した活動の推進を図ります。
- ③各種体験学習活動の機会拡充を図ります。
- ④地域全体で青少年の健全育成を図るため、青少年と地域住民のコミュニケーションを深めながら、ボランティア・地域活動での景観・環境保全教育などを推進します。

●主要な事業

- ・ジュニアリーダーコース、シニアリーダーへの派遣
- ・サロベツ体験隊事業
- ・放課後子ども教室推進事業
- ・学校支援地域本部事業の強化

- ・ 子供育成連絡協議会などへの援助
- ・ 自然体験活動事業
- ・ 青年懇話会との連携
- ・ 成人式典及び祝賀会の開催
- ・ 連合PTAへの支援
- ・ 子育て推進協議会への支援

### **3 国際交流の推進**

#### **(1) 国際交流の推進**

- ①JETプログラムを活用してALT(外国語指導助手)を招へいし、小中高生の語学指導や英会話教室を通し、国際化社会を担う人材育成を図ります。

## 【家庭教育】

### ■現状と課題

家庭は、社会生活に必要な基本的な生活習慣や人間関係の基礎を養う上で重要であり、特に乳幼児期は身体・精神の基礎的な部分が形成される大切な時期であるとともに、家庭環境や社会環境に大きく影響される時期です。

特に核家族化、少子化の進行が著しい現代の家庭環境では、乳幼児の交流や親子の触れ合いなど教育的活動のほか、保護者の学習活動の支援も重要であり、現在、家庭教育支援の一環として「家庭教育学級」や保健推進課、保育園と連携した「ブックスタート事業」などの保護者への取組みを実施しています。

今後も乳幼児期の発達にふさわしい環境のなかで、豊かな情操を育み心身ともに明るくのびのびと育てる環境づくりが引き続き望まれます。

また、父親の育児参加の促進により、家庭内でのコミュニケーションを図り、乳幼児の健全な心身育成と生活習慣などを身につける学習支援活動の拡充が必要であるとともに、保護者間や関係機関、保育行政との連携を図り、情報を共有できるネットワークづくりとして、平成24年には、豊富町家庭教育支援チームを設立しました。

### ■施策の方向・主要な事業

#### 1 家庭教育の充実

##### (1) 学習・教育の場の確保、提供

- ①関係機関と連携し、子育て情報の提供や支援活動の充実を図るため、子育てに関連する講演会などの開催を推進します。

##### (2) 子育て支援教育

- ①子どもたちの健やかな成長を支えるため、関係機関と連携し乳幼児の発育段階に応じた子育て支援教育を推進します。

##### (3) 相談指導

- ①関係機関と連携し、相談指導体制の充実支援を図ります。

### ●主要な事業

- ・ブックスタート事業
- ・家庭教育学級の開設
- ・家庭教育手帳の配布
- ・読み聞かせボランティアグループへの活動支援
- ・各学校、保育園、関係機関などとの連携
- ・発育段階に応じた学習機会の拡充
- ・父親の育児参加の促進

- ・指導者リストの整備と活動の場の拡充
- ・子育てに関する保護者への学習機会の拡充
- ・豊富町家庭教育支援チームの充実

## 【生涯学習】

### ■現状と課題

自立・協働・創造の実現に向け、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばすことや社会との多様性を尊重しながら共に支えあい、高め合い社会参画し更なる新たな価値を創造していくことが生涯学習社会として極めて重要となっています。

本町では、充実した教養を高め、心身の健康保持、増進を図ることを目的とした女性対象の成人学級「ミセススクール」や日常生活においてより豊かで潤いのある生活を営むための機会提供としての「木工、手芸講座」、国際交流・異文化理解を目的とした「ALT英会話教室」などが開催されています。

また高齢者を対象に市街地区に「すみれ学級」、兜沼地区に「生きがい学級」があり、健康づくりに関する学習、仲間づくり、サークル活動などの事業が行われています。

今後は成人や高齢者が持っている知識や技能・資格を地域ボランティアとして地域づくりやまちづくりに活かせる場を提供するとともに、学習活動や社会参加への喜びと意欲を高めるなど、学んだ成果を地域に還元できる機会を作ることが望まれます。

### ■施策の方向・主要な事業

#### 1 生涯学習の推進

##### (1) 生涯学習推進体制の充実

- ①物質的豊かさより心の豊かさや潤いをもたらす学習活動を推進するために、生涯学習アドバイザーなどを配置し、個々の学習課題を解決できるような学習機会の提供を図ります。

##### (2) 社会教育事業の充実

- ①知識や経験、技能を次世代へ伝承できる機会を提供し、社会のなかで大きな役割を担い、自信と生きがいを持てる取り組みを推進します。
- ②成人の多岐にわたる学習・生活ニーズなどを十分に把握し、関係機関や団体・サークルとの連携を一層強化し、健康づくりや仲間づくり事業を推進します。

##### (3) 指導者、指導体制の充実

- ①次代を担う実践的な指導者の発掘と養成及び資質の向上を図ります。

##### (4) 社会教育団体への支援

- ①各種団体の取り組みや活動状況を紹介するなどの支援を図ります。

##### (5) 団体交流の促進

- ①各種団体の活動を活性化するため、団体間交流の促進を図ります。

## (6) 社会教育関連施設の整備と有効利活用

- ①町民センターをはじめ各施設の計画的な整備をすすめると共に、定住支援センター「ふらっと☆きた」の有効利活用を図ります。

### ●主要な事業

- ・成人学級「ミセススクール」の実施
- ・木工講座、手芸講座などの開催
- ・ALT「英会話教室」の開催
- ・すみれ学級の開設
- ・兜沼生きがい学級の開設
- ・異年齢交流事業の実施
- ・生涯学習セミナーの開催
- ・指導者リストの整備と有効活用
- ・生きがいの持てる社会参画活動の奨励
- ・各施設の計画的整備